

## ごみの分別をマスターしよう

### 紙類編

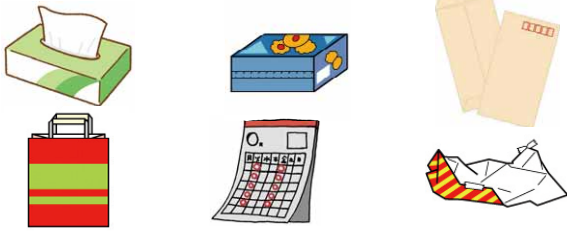
雑がみとは？

雑がみとは、家庭から排出される紙類のうち、新聞紙、雑誌、段ボール、飲料用パックのいずれにも該当しないものをいいます。例えば、ティッシュ箱、お菓子の箱、トイレットペーパーの芯、封筒、包装紙などを指します。

なぜ分別するの？

雑がみを分別することで、燃やしてしまっていた「資源」が再び製品になります。正しい分別をすればごみの減少につながり、処理費用も少なくなります。ごみを捨てる前の「ひと手間」にご協力をお願いします。

### ○ 主な雑がみ



雑がみは資源ごみになります。雑がみを分別する際は、紙以外の部分を取り除いて資源ごみに出してください。  
例) テッシュ箱やお菓子の箱、封筒など

### × 雑がみに出せないもの



紙類であっても匂いがついたり、汚れてしまっているものは雑がみになりません。燃えるごみの日に出してください。  
例) 洗剤の箱やピザの箱、レシートなど

## 地域おこし協力隊通信

問合せ 企画課地域振興係  
☎25-3442



こんにちは！地域おこし協力隊の高橋梨果子です。  
私は4月から、かかしを作っています。最初は、道の駅のおブジェとして作っていたのですが、現在は、大人気の撮影スポットになっています。  
最近になって、一人で作れるようになってからは、今までにないギャル系かかしを2体作ってみました。



昭和村地域おこし協力隊  
高橋 梨果子 隊員

道の駅「あぐりーむ昭和」  
観光交流室で活動中！

2体のかかしの手はピースをしていますので、かかしの間に入って一緒にポーズを取って写真を撮るのがおすすめです。特に顔にはこだわって作ったので、カメラアプリで可愛く加工することもできます。  
天気のいい日は、2体のかかしが道の駅で出迎えてくれます。写真撮影をする際は、明るい時間にぜひ来てください。

